

○音色とリズムを組み合わせて、リズム曲をつくろう

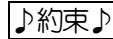
「生徒作品」

2年 組 番 氏名:

学習日	授業の振り返り
月 日()	
月 日()	

学習日	授業の振り返り
月 日()	
月 日()	

○リズムカードを組み合わせて、曲をつくろう。【技能】



リズムカードを2種類以上組み合わせてつくりましょう。 ※四分休符を使う場合は、それ以外に2種類以上使おう

4
4

1

2

() () () () () () () ()

3

4

() () () () () () () ()

○発表会評価技能
※教師記入欄

演奏の再現度				
A	A'	B	B'	C
音色の表現				
A	A'	B	B'	C

○リズムをたたく身体の部位を決めて、ボディパーカッションを完成させよう。



身体の部位を2種類以上組み合わせてつくりましょう。

○リズム曲をつくる時の工夫を書きましょう。【創意】

.....

.....

.....

.....

.....

.....

○演奏で表現したいことや、工夫することを書きましょう。【創意】

.....

.....

.....

.....

.....

.....

○リズムカードを切り取って使おう

Sn	ティティ	ター	スティ	Sn	ティティ	ター	スティ
Sn	ティティ	ター	スティ	Sn	ティティ	ター	スティ
Sn	ティティ	ター	スティ	Sn	ティティ	ター	スティ
Sn	ティティ	ター	スティ	Sn	ティティ	ター	スティ

「音色とリズムを組み合わせ、リズム曲をつくろう」(3時間)

(1時間目)

- ♪ 音符休符の学習の後、復習も兼ねてリズム読みを学ぶ。
- ♪ 提示された4分の4拍子2小節をリピートするリズムを実際にやってみる(リズム読み → 手でリズム打ち)。
- ♪ 4分の4拍子4小節分のリズムをリズムカードを使うなどして創作する。その際、リズムカードを2種類以上組み合わせること、四分休符を使う場合は、それ以外に2種類以上使う条件を示す。
- ♪ カードを並べて偶然できたリズムを生かしつつ、少しずつ思いや意図を反映させるリズムへ工夫すると形ができてやすい。
- ♪ 実際に発表することを前提にリズムを創作することと、リズムの組み合わせ方など、創作の工夫を書く場面があることを意識して創作に取り組む。

(2時間目)

- ♪ 創作したリズムを再考し、より良いリズム曲を追求する。
- ♪ 創作したリズム曲の手でリズム打ちの練習をする。
- ♪ リズムを打つ場所を工夫し、曲を完成させる。その際、体の部位を2種類以上組み合わせる条件を示す。
- ♪ リズムを打つ場所を工夫により、リズム自体の変更も含め再考する。
- ♪ 生徒作品からいくつか例を出し、歌詞やフレーズの工夫を共有してより良い作品に向けたアドバイスを交流する。

(3時間目)

- ♪ リズム曲を再考し、発表する。

【コロナ対策など追記】

- ・ 例年は1学年で実施していますが、学級閉鎖や休校の関係で今年度は2学年で実施しました。
- ・ 普段はユニットごとにリズムカードを渡して創作の導入部分活動していますが、グループ活動ができないため、個人にリズムカードを配布しました。
- ・ リズムカードは最終的に貼り付けましたが、途中は音符やリズム読みをメモさせました。
- ・ ユニットごとに交流&アドバイスの時間は取れませんが、生徒作品を画面に映すなどすれば可能だと思います。